

高野山（和歌山県高野町大字高野山）建立の 福岡県老人クラブ連合会供養塔について



高野山に福岡県老連の供養塔があるのをご存知ですか？

高野山のゆるキャラ
「こうやくん」

「高野山」は、かつて空海が高野山を開設した際に結界が張られていた全域が境内地とされ、境内の中に開かれた宗教都市です。その中心は、真言宗総本山金剛峯寺であり、中には数々の国宝、重要文化財が存在し、今多くの人々の信仰を集めています。

「高野山奥之院」は、高野山の二大聖地のひとつとされ、弘法大師入定の地であり、その参道には、樹齢約 700 年の杉木立の中に、皇族、諸大名をはじめ、文人や庶民にいたるまで、あらゆる階層の人々の墓石や祈念碑、慰靈碑 約 20 万基が建ち並んでいます。そして、**この参道沿いに、われわれ福岡県老連の供養塔があります。**

この供養塔は、建立された当時の会員の皆さんだけではなく、後輩の老人クラブ会員の皆さんのご冥福をお祈りするために建てられたものです。昔はこの経緯を知っている先輩会員の方々がツアーを組んで高野山にお参りに行っていたようですが、だんだんとこの「供養塔」の存在を知っている方が少くなり、ツアーを組んでという参拝も無くなってしまったようですが、現在も 3 年毎に、皆さんからお預かりした過去帳を持って高野山へ参拝しています。

（コロナ期間中は参拝が 2 年間、延期されました。）



＜供養塔建立の経緯＞

『昭和 59 年 5 月 31 日 第 23 回県老連総会において、かねてより懸案であった老人クラブ会員の物故者供養塔建設が決定された。場所は上記の「高野山」で一坪半の墓地を永代使用することになった。建設資金は、全額、会員の寄付によることとなり、添付の趣意書により、昭和 60 年 3 月、当時の会長田中義忠氏他 14 名の役員の連名で、それぞれ担当地域を設けて募金を行った』という事績が残されています。

最終的には、目標額 500 万円を上回る 617 万 8,780 円の募金が寄せられ、昭和 60 年 9 月 23 日に落成しました。（当時のお金にするとかなりの金額の寄付ですね。驚きました。）

＜以下趣意書より抜粋＞

『高野山は宗派の異なるにも拘らず、法然上人・親鸞上人をお祀りしており、そのほか有名人・福岡黒田藩を始め多くの藩主の墓地又はキリスト教徒の墓地も存在し、**宗教を超えた聖地**であります。この聖地高野山に建立する慰靈碑は、老人クラブ創立以来ご活躍いただいた会員物故者並びに今後不幸にして黄泉のくにに旅立たれた方々を過去帳に記入のうえ御靈を合祀し、ご遺徳を忍び安らかなご冥福をお祈り申し上げるためのものです』と書かれています。

老人クラブの素晴らしい先輩方の思いが詰まった「供養塔」だということを感じることができます。



(左写真) 県老連慰靈碑の奥が島津家です。



(右写真) 隣の島津家のお墓です。

高野山には皆さんご存知のとおり、歴史上の有名な人物や芸能人のお墓が沢山ありますが、なんと、県老連供養塔のお隣は薩摩藩の島津家のお墓です。周りには石田三成や明智光秀、上杉家や伊達政宗などの武将が祀られています。

前回は、コロナ感染症を考慮して、2年間延期された後の令和4年に、会長と事務局長の2人で、お預かりした過去帳を持って参拝しました。3年毎ということなので、次は令和7年に参拝することになります。

県老連では、「供養塔」建立時の先輩方のお気持ちを無駄にすることなく、この参拝の行事を絶やすことなく続けていければと望んでおります。今回初めて「供養塔」の存在を知ったという市町村老連におかれましても、是非、老人クラブ活動にご活躍いただいた会員物故者の過去帳をお預けいただき、われわれで高野山へお納めできればと思っています。

また、単位クラブの皆さんへも「高野山供養塔」のことをお伝えいただけすると幸いです。

今後、高野山へ行かれる機会がございましたら、是非、福岡県老人クラブ連合会の供養塔もお参りしていただければ嬉しく思います。

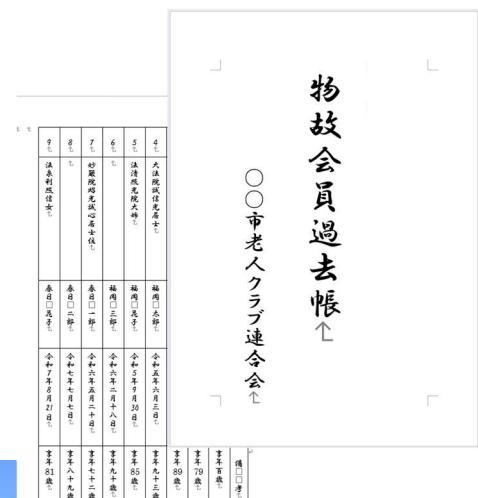


過去の高野山参拝の様子です。

毎回、宿坊「大圓院」に
泊まっています



↑ 県老連指定の様式で作成
していただいた過去帳を
お納めします



物故会員過去帳↑
○○市老人クラブ連合会↑